

平成24年3月30日

陸前高田市議会議長 伊藤 明彦 殿

会派名 日本共産党陸前高田市議団
代表者名 団長 藤倉 泰治



政務調査活動概要報告書

会政務調査に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、平成23年度政務調査活動報告をいたします。

記

1 研修調査活動(1)

- (1) 集会名 復旧・復興全国交流集会イン宮城
(2) 主催者 全国災害対策連絡会
(3) 日時 平成23年10月8日(土)～9日(日)
(4) 場所 鳴子温泉「農民の家」
(5) 参加者 団長 藤倉泰治、副団長 大坪涼子、幹事長 伊勢純 以上3名
(6) 行程 10月8日(土)

陸前高田市8:00発→一関IC→古川IC→鳴子温泉「農民の家」12:30着 復旧・復興全国交流集会 in みやぎ参加(記念講演、被災地報告、分科会) 旅館宿泊
10月9日(日)

8:30 復旧・復興全国交流集会 in みやぎ参加(分科会、全体集会) 12:55 集会終了→「農民の家」13:30発→古川IC→一関IC→16:30 陸前高田着

(7) 集会日程

10月8日(土)

13:00 開会

13:30 記念講演「東日本大震災からの復旧・復興の課題と展望—一人間の復興とくらしの復興をめざして—」 講師
官入興一氏(愛知大学経済学部教授)

15:10 被災地の現状と課題(特別報告) 岩手、宮城、福島各県から報告

16:45 分科会

被災地の学校・保育・福祉施設 藤倉泰治参加

農林漁業の再建と課題 伊勢純参加

被災地における地域医療の再建 大坪涼子参加

10月9日(日)

8:30 分科会再開 11:40 全体集会、分科会報告 12:55 まとめと閉会

13:00 終了

(8) 研修項目

- ①東日本大震災の災害像の特徴、災害復興の基本理念、わが国の災害復旧・復興制度、東日本大震災からの復興の諸課題
②岩手、宮城、岩手3県の被害の実態、復旧・復興のとりくみの現状



2 研修調査活動（2）

(1) 集会名 第3回地方議会議員研修会

(2) 主催者 主催：NPO 法人建設政策研究所

(3) 日時 10月24日（月）～25日（火）

(4) 場所 京都市・京都リサーチパーク

(5) 参加者 団長 藤倉泰治 1名

(6) 行程 10月24日（月） 陸前高田市 5:30 発→一関駅 6:41 発→京都駅 11:28 着→二条駅 12:03 着 京都リサーチパーク着 第3回地方議会議員研修会参加（記念講演、特別講義） 旅館宿泊

10月25日（火） 9:00 第3回地方議会議員研修会参加（講義1・2・3、講師によるまとめ、閉会） 15:36 二条駅発→15:53 京都駅発→東京駅 18:28 発→一関着 20:50 → 陸前高田着 22:20

(7) 日程

10月24日（月） 第3回地方議会議員研修会

13:00 開会

13:10 記念講演「災害から住民をいかに守るか」－防災・減災における国と自治体の役割－

講師 室崎益輝氏（関西学院大教授）

15:20 特別講義 福島原発から何を学ぶか

講師 深尾正之氏（日本科学者会議京都支部、元静岡大教授）

10月25日（火）

9:00 講義1「公共事業の基礎を学ぶ」

講師 高木直良氏（NPO 法人建設政策研究所）

10:50 講義2「再生可能エネルギーの基礎を学ぶ」

講師 和田 武氏（日本環境学会会長／元立命館大教授）

13:20 講義3「自治体財政の基礎を学ぶ」

講師 霜田 博史氏（高知大准教授）

14:50 講師によるまとめ、閉会

室崎益輝先生（関西学院大教授）などの講義を受講した。室崎先生は、「減災」「危機管理」「安心まちづくり」の3つのキーワードにして、被害の引き算と対策の足し算ではかるといことから災害対策を考える重要性を話された。

15:00 終了

(8) 研修項目

①減災のための対策と「足し算」の考え方、被災者の立場に立つ支援、ハード・ソフトも大切だがヒューマンウェア教育の重要性、持続的な減災のまちづくり、共創のパートナーシップ

②福島原発事故の問題と対応について

③防災・減災型の公共事業の進め方及び地域経済に役立てる公共事業について

④世界各国の再生可能エネルギー政策及び日本のエネルギー政策における原子力と再生可能エネルギーについて

⑤地方財政制度の特徴、地方分権改革の流れ、地域主権改革の現状について